



2020年11月6日

各 位

会 社 名 旭ダイヤモンド工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 片岡 和喜
 (コード番号 6140 東証第1部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 小浦雅美
 T E L (03) 3222-6311

第2四半期連結業績予想値と実績値の差異及び通期連結業績予想並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想に関するお知らせ

2020年9月18日に公表しました2021年3月期の第2四半期（2020年4月1日～2020年9月30日）連結業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じたので、お知らせいたします。

また、2020年9月18日に未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想及び2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）並びに2021年3月期の期末配当予想について、本日開催の取締役会において下記のとおり決議しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の第2四半期連結業績予想値と実績値の差異(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2020年9月18日公表)	百万円 14,500	百万円 △800	百万円 △700	百万円 △500	円 銭 △9.01
実 績 値 (B)	14,528	△812	△664	△815	△14.68
増 減 額 (B - A)	28	△12	36	△315	—
増 減 率 (%)	0.19	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (2020年3月期第2四半期)	18,503	85	199	337	6.08

2. 2021年3月期の通期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回予想 (B)	29,300	△1,580	△1,310	△1,350	△24.32
増 減 額 (B - A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	35,304	294	591	△340	△6.13

2. 2021年3月期の第2四半期連結業績予想値と実績値の差異が生じた理由
及び2021年3月期の通期連結業績予想について

2021年3月期の第2四半期累計期間は、繰延税金資産の回収可能性の見直しを行った結果、一部繰延税金資産を取り崩し法人税等調整額に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想から減額となりました。

通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、業績予想の合理的な算定が困難であったため未定としておりましたが、経済状況が現状以上に悪化しないことを前提として、現時点で入手可能な情報や予測に基づき業績予想を算定いたしました。

3. 2021年3月期中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年9月18日公表)	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
1株当たり配当金	3円	未定	4円
配当金の総額	167百万円	—	222百万円
効力発生日	2020年12月1日	—	2019年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

4. 2021年3月期 期末配当予想

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	未定	未定	未定
今回予想	—	3円	6円
当期実績	3円	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	4円	6円	10円

6. 2021年3月期中間配当および期末配当予想の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な課題のひとつと位置付け、将来の事業展開と企業価値向上を図りながら、継続的な安定配当を基本方針としております。

2021年3月期の第2四半期の連結業績は、親会社株主に帰属する四半期純損失となりましたが、中間配当金につきましては、上記基本方針に基づき、1株につき3円とさせていただきます。

期末配当予想につきましても、本日公表の業績予想を踏まえ、上記の通り算定いたしました。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上